

質 問 回 答

2021年1月6日

「(案件名 20a00897 アフリカ地域地域密着型小規模灌漑のアフリカ広域展開に係る情報収集・確認調査)
(公示日：2020年12月16日／公示番号：20a00897) について、企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	5 頁 第1 企画競争の手続き 7. プロポーザル等の提出 (6) 見積書 3) d) 一般業務費(資料等作成費)	「翻訳費(仏文⇒英文):1,000 千円」とありますが、和文／英文⇒仏文、の翻訳費用はここには含まれない、という理解で宜しいでしょうか。	和文／英文⇒仏文の翻訳費用についても含みます。
2	15 頁 第3 特記仕様書案 3. 調査実施の留意事項 (1)調査の進め方 「なお、渡航回数は、ザンビアを含めのべ10回を想定しています。」 20 頁 第4 業務実施上の条件 2. 業務量の目途と業務従事者の構成(案) (1)業務量の目途 「業務量は以下を目途とする。約 36.0人月(M/M)」	入国・国内移動・帰国に伴って拘束される隔離措置期間は業務量として記載された 36MM に含まれているのでしょうか？ あるいは別途計上が考慮されるのでしょうか？	仮に隔離された場合においては、隔離された期間は原則「業務従事期間」には含まれません。隔離措置が適用される状況になった場合には、案件ごとに個別に判断します。
3	同上	渡航回数は、ザンビアの2回を除くと、調査対象国5か国でのべ8回が配分されています。複数国にまたがる周遊渡航が難しい現状ですが、周遊、単発ど	現段階では、周遊による渡航を想定しています。渡航措置が緩和されない場合、受注者と業務計画の変更等について協議の上、要すれば契約変更等で対応をします。

通番号	当該頁項目	質問	回答
		こちらの渡航形態を想定されていますでしょうか？	
4	20 頁 第 4 業務実施上の条件 2. 業務量の目途と業務従事者の構成(案) (1) 業務量の目途	「ザンビア調査に係る業務:3.2 人月程度」は、36.0 人月に含まれる、という理解で宜しいでしょうか？	ご理解のとおりです。
5	17 頁 第3 特記仕様書案 4. 調査の内容 (5) 上記 10 か国に対する既存資料調査	既存資料収集にあたり、既存資料の所在確認と入手、入手のために必要な先方からの許可の取り付け、必要な現地傭人の雇用、現地傭人の現地での活動にかかる諸手配に関して、貴機構在外事務所からの十分な便宜供与は受けられる見込みでしょうか？	既存資料の入手元については、先方政府であることを想定しておらず、Web ベース等での情報収集を想定しております。しかしながら、現地傭人が先方へコンタクトする必要がある場合、当機構からのレターの発出については、支援します。
6	ページ 5 7 プロポーザル等の提出 (6)見積書 3) 定額を見積書 d) 一般業務費(資料等作成費) 翻訳費(仏文⇒英文)	SSA には英語や仏語以外の言語(例:ポルトガル語)が公用語となっている国もありますが、この定額計上の翻訳費にはその他の言語も含まれるでしょうか？	ポルトガル語等、英語、仏語以外の文書の翻訳については、想定していません。現地調査を実施する 5 か国の対象に英語圏、仏語圏以外の国が選定された場合は、必要となる経費を受注者と協議の上、要すれば契約変更等により対応します。
7	ページ 17 3. 調査実施注意事項 (8)小規模灌漑開発支援ポテンシャル調査(5カ国) (オ)第三国研修、現地国内研修実施の可能性、枠組みの検討	現地国内研修とは、現地調査対象国内での研修という理解でよろしいでしょうか？	ご理解のとおりです。
8	ページ 18 4. 調査の内容 (9)GCF 調査 エ) GCF を活	「Funding Proposal の作成支援」とありますが、この範疇を確認させていただき	プロポーザル案および Appendix の作成支援を想定しています。ただし、コンセプトノート(CN)提出後の GCF 事務局内での審査に多大な時間を要する場合も想定されます

通番号	当該頁項目	質問	回答
	<p>用した COBSI アプローチの広域展開の可能性及び実施に向けた検討・準備</p>	<p>たく思います。事業費的に GCF のうち簡易採択案件(SAP)になるかと思いますが、これにはコンセプトノート(CN)の提出・レビューが必須となり、これも踏まえた上でのプロポーザル案および Appendix の作成支援までが業務の範囲となりますでしょうか？</p>	<p>ので、事務局の審査が終了せず、レビューの結果を反映させることができなくてもやむを得ないと考えています。</p>
9	<p>ページ 20 第 4 2. 業務量の目途と業務従事者の構成(案) (2)業務従事者の構成(案)</p>	<p>渡航回数のはのべ 10 回を想定されていますが、対象 5 カ国に各 1 回渡航およびザンビア調査に 2 回渡航とすると、計 7 回渡航となり、3 回足りません。どのようにのべ 10 回渡航を想定されたのでしょうか？</p>	<p>No. 3 に同じ。</p>

以 上